

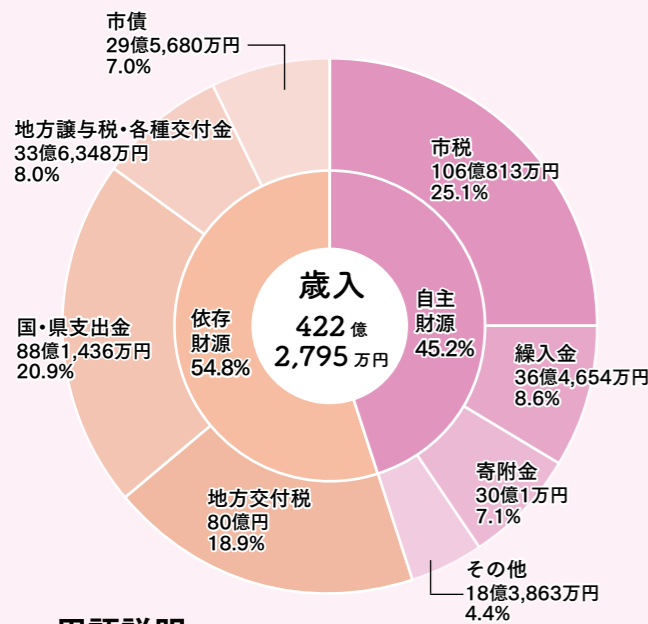
燕市の 一般会計当初 予算

総額 480億2,500万円
実質的な
予算規模 422億2,795万円

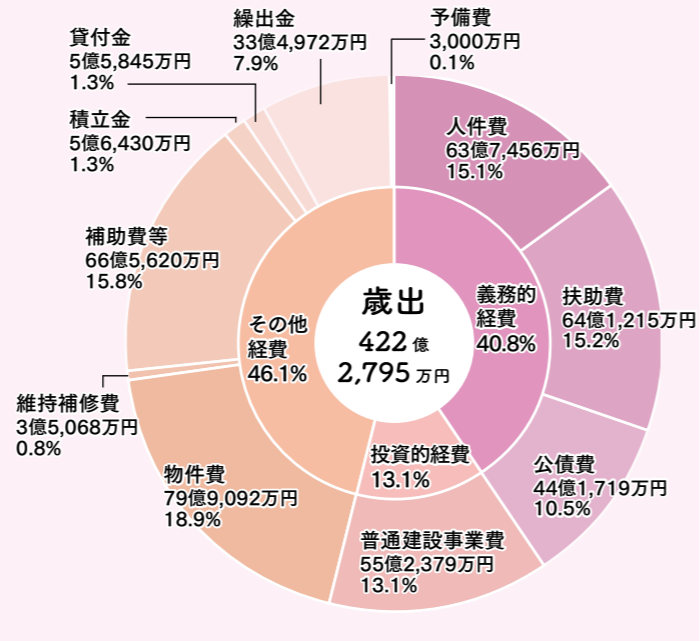
一般会計当初予算の総額は、屋内こども遊戯施設をはじめとした子育て関連施設の建設事業などに積極的に取り組むこととしたため、合併後最大となる480億2,500万円となりました。なお、借換分を除く実質的な予算規模422億2,795万円と令和5年度の国補正予算を活用した「繰越事業」を合わせた執行ベースの予算規模432億1,103万円でも合併後最大となっています。

実質的な予算規模

歳入の状況



歳出の状況 (性質別分類)



用語説明

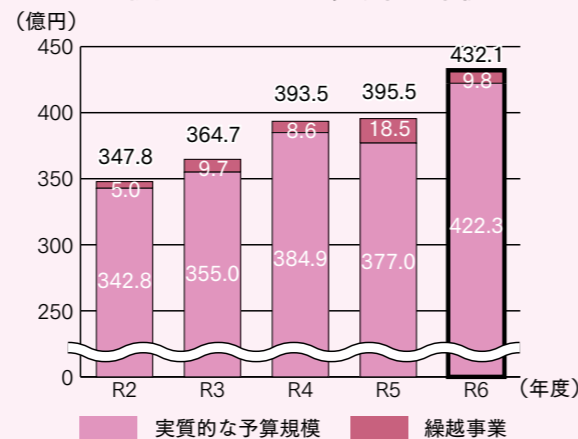
自主財源 … 市が自主的に収入できる財源
 義務的経費 … 支出することが義務付けられている経費
 借換分 … すでに発行した市債を借り換えるもので、借入額と返済額を歳入歳出同額で予算計上
 依存財源 … 国または県などから収入される財源
 投資的経費 … 道路や施設などの整備に要する経費

一般会計当初予算

区分	番号	予算額	前年度比
一般会計	①	480億2,500万円	11.2%
①のうち借換分	②	57億9,705万円	5.5%
実質的な予算規模	①-②	422億2,795万円	12.0%
繰越事業	③	9億8,307万円	▲46.9%
執行ベースの予算規模	①-②+③	432億1,103万円	9.3%

端数調整のため合計額と一致しない場合があります。

執行ベースでの予算規模の推移



～目標の達成に向けてさらに前進する年に！～

令和6年度 施政方針

●4つのアプローチからなる 子育て施策のさらなる進化

●「地域社会のDX※」と 「脱炭素社会の推進」

を2大重点施策として取り組んでまいります。

3月6日、市議会定例会で市長が施政方針演説を行いました。その中から、当初予算額や重点施策などポイントを絞ってお知らせします。

元日に石川県能登半島でマグニチュード7・6の地震が発生し、石川県をはじめ新潟県内でも、数多くの方が甚大な被害に見舞われました。本市においては、人的被害こそなかったものの、住宅等に半壊や一部破損などの被害が多数出ており、防災・減災対策の強化に取り組む必要があると感じたところです。あらためまして、被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

現在は、被害を受けた市民の皆様への経済的負担の軽減と早期復旧に向け、被災住宅の修繕費や、ブロック塀、石灯籠等の撤去費などに対する助成を緊急的に実施するなど、被災者に寄り添いながら支援を続けております。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症の法的措置が本格的に再開され、長かったトンネルからようやく抜け出すことができる明るい兆しが見えてきた年でした。また、市政運営の最上位計画にあたる「第3次燕市総合計画」がスタートするとともに、10本の分野別個別計画の策定を進めるなど、市として新たな一歩を踏み出す年でもありました。

一方で、エネルギー価格や原材料費の高騰の影響が長期化する中、本市においても、物価高騰により行政コストが増加しており、社会保障関連経費や公共施設の老朽化対策など従前からの財政負担の増加要因も相まって、依然として厳しい財政状況が続いております。

こうした状況のもと、国立社会保障・人口問題研究所が令和5年12月に公表した将来人口推計によると、本市の人口は、2020年の7万7,201人から、2050年には2万3,065人減少し、5万4,136人になるとされています。その減少率は、県内20市中、新潟市、長岡市に次いで少ない方から3位ではあるものの、今後急速に人



口減少が進むと見込まれており、その対策は不可欠であります。

新たに迎える令和6年度は、2年目を迎える第3次燕市総合計画や、これまでに策定してきた分野別個別計画に基づき、目標の達成に向けてさらに前進する年になります。深刻さを増す人口減少に対応するとともに、地方創生や地域活性化に積極的に取り組むため、①ライフステージに合わせた支援制度の充実、②個性的で子育て目線で整備された子育て施設の充実、③事業所や地域が連携し子育てを支える仕組みの強化、④個性を伸ばし人間性を高める教育の推進という「4つのアプローチ」からなる子育て施策のさらなる進化、そして「地域社会のDX」と「脱炭素社会の推進」を重点に、引き続き「定住人口戦略」、「活動人口戦略」、「交流・応援（燕）人口戦略」の3つの人口戦略を柱に据えた各種施策に取り組む予算を編成いたしました。

施政方針の全文はこちら



※DX(デジタルトランスフォーメーション)…デジタル化により、社会や生活の形・スタイルが変わること。